



令和3年3月19日

上原中だより

NET UEHARA(URL: <https://shibuya.schoolweb.ne.jp/ueharaj>)
教育目標 自主・自律 共生 未来の創造

卒業を祝して

校長 守原 智信

卒業おめでとうございます。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月から2か月間休校という誰も経験したことが無い状況でのスタートとなりました。上原中のトップリーダーとなり学校全体を牽引していく立場に立った3年生の皆さんは、下級生の良き手本となり今まで積み上げてきた上原中の伝統にさらに磨きをかけようという意識を高めていたところでしたが、年度初めから休校という措置に戸惑いを感じたのではないのでしょうか。例年行われていた入学式をはじめ新入生歓迎集会や生徒総会、初夏の体育祭は中止や延期となり、中学校最後の宿泊行事の修学旅行も中止となってしまいました。6月から分散登校で対面の授業が始まり、7月からやっと正規の時間割で授業を進めることができましたが、毎日のように取り組んできた部活動の夏の大会も中止となり、楽しみにしていたことや、情熱を込めて取り組んできたことはほぼすべてが完結することなく、残されたのは時間とともに迫ってくる進路でした。例年であればトップリーダーとしてやるべきことを確実にやり終えて、気持ちを新たに、経験に裏打ちされた自信をもって進路に臨むところですが、そうした精神的な切り替えの時間も十分ないままに秋を迎えました。しかし君たちはそのような状況の中、自分自身の進路を真正面から受け止め、気持ちの切り替えをしっかりして毎日の学校生活を送りました。毎時間、集中して授業に臨む姿勢はトップリーダーとしての真骨頂であり、秋の学年別体育祭で見せてくれた応援には「自分たちにできることは何か」を考え実践するトップリーダーとしての意地を感じました。冬の学習発表会展示の部では、個性あふれ、随所に工夫がみられる多くの秀逸作品が並び、下級生により良い作品を作るヒントを与えてくれました。残念なことに飛沫による感染防止の観点から合唱コンクールができませんでしたが、開催されていればクラスが団結した圧倒的な歌唱力と主体的に練習に取り組む姿を見せてくれていたでしょう。君たちの学校生活に対する姿勢は下級生の面前で披露することはできませんでしたが、その後ろ姿で後輩たちを引っ張り上原中のトップリーダーとしてのあるべき姿を示し良き伝統を残してくれました。ありがとうございました。

さて、上原中学校を卒業し新たな世界へ踏み出す皆さんに、門出に際して3つのお話をしたいと思います。1つ目は「どちらに転んでもしめた」という考え方についてです。中学校を卒業し、ひとりひとりが自分の意思で決めた進路へと舵を切ります。希望通りの進路先になった人、自分が一番に希望していた進路先とは違った人などそれぞれだと思えます。どんな進路先であっても「どこに進む」かだけが重要ではなく、そこで「何をするか」が重要であると思えます。自分の進む先が希望通りの進路先であっても、進んだ場所でもなにも努力しないのでは、その場所へ進んだ意味はありません。逆に自分が一番に希望していなかった進路先に進んでも、その場所で自分の力を信じて物事にトライし意欲的に取り組むことで、今まで自分が気付かなかった適性や、かくれていた力に気が付き、新しい自分を発見することができます。「どちらに転んでもしめた」というポジティブな考えをもち、新たな場所で力を発揮して自分を磨いてください。

2つ目は「ありがとう」を素直にしっかりとと言える人になってほしいということです。「ありがとう」の語源は「あり」「がたし」です。そうあることは難しいとか、そうあることは当たり前ではないという意味です。特に進路決定を控えて君たちの健康を気遣い、毎日の食事や身の回りの世話をしてくれたご家族がしてくれたことは、してくれて当然ではありません。そのほかにも日常生活の中で、周りの人から何か支援してもらおう事、助けてもらおう事、声をかけて勇気づけてもらおう事はたくさんあります。そのような一見何気ないことに対しても「ありがたし」事にとらえて、素直に「ありがとう」と言える人になってほしいのです。「ありがとう」と言う言葉は、言われた人の気持ちも、言った自分の気持ちも明るくすがすがしいものにしてくれる力を持っています。「ありがとう」を言える人には「ありがとう」の言葉が返ってきます。感謝の気持ちを素直にしっかりとと言える人になってください。

最後に3つ目です。それは「人生の宝物を大切にする」ということです。長い人生において自分を支えてくれるのは家族であり友人です。信頼できる友人を得るには、多くの時間を一緒に過ごすこと、そして、苦楽を共にして本気で自分を表現することが必要です。部活動等で多くの時間を共にした友人が、人生の岐路に立った時に励まし、支えてくれることは多くの人が経験していることです。家族や友人はお金では買うことができない宝物です。特に友人という宝物をたくさん得る時期に皆さんはいます。絶好の機会を逃さず、一生付き合っていける友人をたくさん作ってください。そして自分の宝物を大切に自分の人生をより豊かなものにしていってください。

今まで上原中のトップリーダーとして学校を牽引してきた皆さん。その力をベースに皆さんが新しい世界に羽ばたき活躍されることを切に願っています。

令和3年度 高等学校入学者選抜実施状況について

進路指導主任 板垣 純子

令和3年度東京都立高校入学者選抜に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から昨年度までの入学者選抜から大きく以下の3点の変更がされました。

- 1 推薦に基づく入試（一般推薦）における検査内容から、集団討論が削除
- 2 推薦・第一次募集の出願方法が各高校へ出向く方法から学校からの郵送へ変更
- 3 合格発表が各高校校内掲示のみからホームページ掲載と校内掲示へ変更

郵送による出願は便利な反面、出願期間の早期変更にともない、出願応募倍率の掲載からほとんど考える時間がないまま、取り下げ・再提出となり、出願校についてよく考えておかないと焦ってしまう状況があることも分かりました。ホームページによる合格発表は円滑で、高校も合格者への書類渡しの時間を区切って行うなど配慮がされていました。次年度の入学者選抜に関しても、今年度の方法を継続していくかは未定ですが、状況に鑑み入試情報や動向をつかんでおく必要があります。

令和2年度の東京都立高等学校入学者選抜の応募状況については、全日制29,509人（前年度は30,501人）の募集人員に対して、39,785名（前年度は42,589人）が志願し、最終応募倍率は、前年度（2020年度）比0.05ポイント減の1.35倍となりました。全日制普通科で自校で問題を作成する高校については、日比谷2.11倍、西1.61倍、戸山2.09倍、青山2.22倍、新宿1.92倍と、人気が高い状況が続いており、来年度以降もこのような傾向は続くことが予想されます。一方で、全日制でもコース制、専門学科、総合学科などは、比較的ゆるやかな応募倍率となっており、全日制専門学科は、商業科や工業科など合計4,563人の募集人員に対して4,770人が志願し、最終応募倍率は、前年度より0.04ポイント減の1.05倍となりました。

私立高校の入試傾向はこの数年は大学入試改革の影響から大学付属校人気が続いており、青山学院の12.35倍を筆頭に早稲田実業学校の7.03倍、早慶・MARCHのほとんどの付属校が3.5～5.5倍で推移するなど、非常に高倍率となっています。さらに最近では、特進コースや選抜コースなどを設置し、進学指導に力を入れている学校が多く見られます。特進を文系と理系に分けたり、さらには理系を医歯薬系や薬学系に細分化し、差別化を図る学校もあります。また公立高校（私立高校）を第一志望とする場合、公立高校（私立高校）が不合格の場合に必ず入学するという条件（併願優遇制度）を利用して、私立高校を受験する生徒が多くなっています。公立高校を志望する生徒であっても、第2志望の私立高校の特色などについて、入試説明会に参加し十分に理解を深めておくことが大切です。

令和2年度 渋谷区立上原中学校卒業生進学先状況一覧（令和3年3月18日現在）

No	都立高校	男	女	計	No	私立高校	男	女	計
1	科学技術	1	0	1	1	青山学院	0	1	1
2	蒲田	1	0	1	2	あずさ第一	0	1	1
3	工芸	0	1	1	3	N高校	0	1	1
4	国際	0	1	1	4	鹿島学園	1	0	1
5	狛江	1	0	1	5	関東国際	0	2	2
6	駒場	1	2	3	6	慶応義塾志木	1	0	1
7	鷺宮	0	1	1	7	京華女子	0	1	1
8	桜町	1	0	1	8	佼成学園	1	0	1
9	産業技術高等専門学校	1	0	1	9	佼成学園女子	0	1	1
10	神代	1	0	1	10	国際基督教大学	0	1	1
11	杉並	3	0	3	11	国士館	0	1	1
12	杉並総合	1	0	1	12	国士館(昼間定時制)	1	1	2
13	総合芸術	1	1	2	13	駒沢学園女子	0	1	1
14	総合工科	0	1	1	14	松蔭大学附属松陰	1	0	1
15	第一商業	0	1	1	15	自由ヶ丘学園	1	0	1
16	戸山	0	1	1	16	淑徳SC高等部	0	1	1
17	中野特別支援	0	1	1	17	実践学園	1	0	1
18	西	1	0	1	18	城北	1	0	1
19	三田	0	1	1	19	多摩大学目黒	0	1	1
20	武蔵丘	1	0	1	20	中央大学杉並	0	1	1
21	両国	0	1	1	21	東京学館浦安	1	0	1
22	六本木	0	1	1	22	東放学園	0	1	1
	都立合計	14	13	27	23	桐朋女子	0	1	1
					24	日本大学櫻丘	1	1	2
					25	日本大学第二	1	0	1
					26	広尾学園小石川	1	0	1
	海外・その他	3	0	3	27	豊南	0	1	1
					28	明治学院	0	1	1
					29	立正大学付属立正	1	0	1
					30	ルネサンス	0	1	1
					31	横浜	1	0	1
					32	早稲田大学	1	0	1
令和2年度第3学年在籍	男子	女子	合計		私立合計	15	20	35	
	32	33	65						